

事業番号	10 05 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室		
		実施期間	H16 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑥様々な人の労働参加を全国トップに						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				

### 1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】
	希少鳥獣等保護が必要な鳥獣が存在する一方、野生鳥獣による農林業等への被害はここ10年程減少傾向にあるが、依然として深刻な状態である。(R2年度 農林業被害額:7億4千2百万円) ニホンジカの捕獲頭数が増える中、ジビエの需要量の拡大が課題である。
	【目指す姿】
	野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除や捕獲等の対策と併せ、捕獲した個体を地域の有用な資源として活用を進め、民間との協働により、信州ジビエをビジネスとして定着させるための総合的な振興を図り、農山村の活性化に資する。
【実施内容】	
信州ジビエの生産及び流通の体制整備、人材育成、普及啓発 (主な成果)	
・(株)イオンとの販売調整 ・(株)デリシア、(株)テンホウ・フーズとの需給調整	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	HACCP認証施設数	箇所	—	—	—	3	↑	4	未達成
2									
3									
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	0	0	0
当初予算額	7,321	9,497	16,061
補正予算額	0	0	-2,700
合計(A)	7,321	9,497	13,361
うち一般財源	2,282	2,490	1,921
決算額(B)	5,097	7,859	11,813
職員数(人)	1.0	1.0	1.0

成果指標 及び目標値 の設定理由	1.食品衛生法の一部改正により令和3年6月からHACCPに沿った衛生管理が義務化されたことから、衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に向けて、食肉加工施設におけるHACCP導入を推進する。
達成状況 の分析	1.県内の認証施設において、HACCPに基づく適切な管理等を指導したが、その他の施設においては新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により計画通りに訪問指導等が行えなかった。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 信州ジビエの生産体制整備への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や協議会が行う衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に係る施設整備や販路開拓等の活動を支援</li> </ul> </li> <li>✓ 食肉加工施設に対するHACCP導入支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内12施設を対象にHACCP導入に向けた研修会を実施し、制度導入義務化への対応を支援</li> </ul> </li> <li>✓ シカ肉の安全な流通を確保するための放射性物質検査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見町産シカ肉の全頭調査と県内シカ肉のモニタリングによる放射性物質検査を実施</li> </ul> </li> </ul> <p>※HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point) HACCPとは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。</p>
------	---



衛生管理の行き届いた食肉処理施設

### 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に向けて、食品衛生法の一部改正により令和3年6月から本格施行されたHACCPに沿った衛生管理が求められる。</li> <li>・捕獲から解体加工、流通、消費に係る一連の過程における課題を総合的に解消することが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部との連携による、ジビエ生産を行う食品事業者に対するWEB等を活用した研修会の開催や、信州ジビエコーディネーターによる個別の衛生指導を実施する。</li> <li>・情報収集活動における課題や目標を共有し、営業局との連携を密にし、より効果的で効率的な情報収集を実施する。</li> </ul>

事業番号 10 05 02 細事業一覧 (令和3年度実施事業分) 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	信州ジビエ総合振興対策事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	信州ジビエ総合振興対策事業	5,097 千円	7,859 千円	11,813 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	信州ジビエ生産体制整備	交付金	捕獲・搬送・解体加工まで良質なジビエ生産に必要な施設整備と販路開拓等の必要経費を支援
2	信州ジビエ流通体制整備	直接	信州ジビエの需要増加や安定的な市場流通に向けて、ジビエ流通・消費の専門家2名により県内外の生産者及び飲食店等の情報収集活動を実施
3	信州ジビエ活用促進	直接	安全なジビエを提供するための放射性物質検査を実施 全頭検査(富士見町産シカ肉)568件 モニタリング検査 47件 計615件